

第 1 号議案

平成 2 8 年度事業報告

当協会では、環境への負荷が少ない持続可能な「循環型社会」を形成するためには、産業廃棄物処理業界の「環境産業」としての自覚と健全な発展が不可欠であるという認識を基本に、産業廃棄物の適正処理と再資源化等に関する諸事業を進めている。

平成 2 8 年度においては、非営利型一般社団法人として、定款に定める次の 5 つの事業を実施するとともに、県と連携した環境産業へのステージアップ事業を推進した。

I 産業廃棄物の適正処理等に関する調査研究、普及啓発、指導相談等事業においては、廃棄物処理法の見直し、処理技術等の動向の把握、労働安全衛生対策の推進、マニフェストの普及促進、会員・排出事業者等からの相談等への対応、通知・会報・ホームページによる適切な情報発信に努めた。また、業界のイメージアップを図るため、県と連携した「3S 運動」を推進した。

II 適正処理に関する研修会、講習会及び人材育成事業においては、許可講習会を円滑に進めるとともに、法の見直し、労働安全衛生などの重要課題に対応するための研修・講習の充実に努めた。人材育成については、優良事業者の育成を図るとともに、青年部会・女性部会の研修・交流事業により後継者の育成等を図った。また、新入社員の新入社員との定着と意識向上を図るため、県と共催で「環境産業合同入社式」を開催した。

III 不適正処理対策に関する環境保全事業においては、さいたま環境整備事業推進積立金（けやき積立金）の保全を図るとともに、この積立金を活用して、行田市地内に放置された廃タイヤ等による生活環境保全上の支障を除去するため、県・市と共同撤去を行った。また、県の不法投棄等の防止対策に協力した。

IV 災害廃棄物の処理支援等に関する事業としては、県との協定に基づく災害時支援体制の整備を進めるとともに、県が主催する災害廃棄物処理図上訓練に参加して、県、市町村、関係団体の連携強化を図った。また、埼玉県災害廃棄物処理指針の策定に協力した。

V 地方公共団体等からの委託事業としては、県外廃棄物事前協議制度に係る受付事務及び処理業事業者、排出事業者、新規採用者を対象とした実務担当者研修会業務を県から受託し、円滑に実施した。

平成 2 9 年 3 月 3 1 日現在の協会会員数は、正会員 4 0 0 社、賛助会員 4 6 社、計 4 4 6 社である。

I 産業廃棄物の適正処理、再生利用及び資源循環等を推進するための調査研究、普及啓発並びに、相談、指導助言等に関する事業

(1) 調査研究

- ・産業廃棄物の適正処理と減量化、再資源化などに関する情報収集を行うとともに、廃棄物処理法の見直し状況の把握に努めた。また、災害廃棄物対策の検討を進めるほか、県の「太陽光パネルのリサイクル技術に関する検討会」に参加して、システム及び技術面の課題を検討した。
- ・調査研究事業の一環として、下記のとおり廃棄物処理施設の視察研修を行った。

県外廃棄物処理施設視察研修

実施日 平成28年10月6日（木）～7日（金）

視察先 日立セメント（株）神立資源リサイクルセンター 茨城県土浦市

焼却・メタン発酵処理のハイブリッド施設

バイオプラント（食品廃棄物） 135.9 t/日

ロータリーキルン・ストーカ炉 150 t/日

(2) マニフェスト制度の普及促進

- ・紙マニフェストの頒布事業については、周知・啓発を含めた公益的事業として、（公社）全国産業廃棄物連合会と連携して行った。平成28年度における紙マニフェストの頒布実績は次のとおりである。

1) 産業廃棄物マニフェスト 326,800セット

2) 建設系廃棄物マニフェスト 291,200セット

合計 618,000セット

- ・電子マニフェストについては、（公社）日本産業廃棄物処理振興センターと連携して、電子マニフェスト導入実務研修会を2回開催した。

平成28年8月29日（月） さいたま共済会館 受講者 70名

平成29年2月28日（火） あげぼのビル 受講者 60名

(3) 相談指導・普及啓発

- ・廃棄物の多様化と処理に係る制度的な複雑さを背景に、会員や排出事業者、県民から相談等は非常に多く、平成28年度における相談件数は約2,500件に上った。会員等の処理業者からの相談に対しては、行政との連携のもとに適切な指導・助言に努めた。県民や排出事業者からの相談については、その求めに応じて会員の処理事業者を紹介するなど適正な処理の促進に努めた。

- ・啓発事業としては、産業廃棄物の適正処理、事故・災害防止に関する通知等のほか、会報「けやき」を発行するとともに、協会ホームページを充実して適切な情報提供に努めた。会報については、協会事業の報告、関係行政機関からの指導等の情報提供などの充実を図った。

会報「けやき」No. 77（平成28年8月） 800部発行
会報「けやき」No. 78（平成29年2月） 800部発行
協会ホームページアクセス数（年間） 約29,000件

（４）産業廃棄物適正処理の推進

- ・事業系産業廃棄物の適正処理の推進については、法改正に係る対応等を検討するとともに、県の指導のもと埼玉県環境保全連絡協議会と連携して産業廃棄物に係る最近の動向について情報交換を行った。
- ・建設系廃棄物の適正処理推進については、建設廃棄物に係る最近の動向について検討するとともに、県、賛助会員建設業者及び協会関係事業委員による懇談会を開催した。
- ・収集運搬業者については、正会員の約6割を占めることから、会報「けやき」に収集運搬業の実務にかかわる記事をシリーズで掲載した。
- ・県と連携して「産業廃棄物処理業者3S運動」（スマイル・セイケツ・スタイル）を推進し、会員会社等における優れた取組に対しては、県知事表彰が贈られた。また、産業廃棄物処理業の「環境産業」へのステージアップについて、自由民主党埼玉県支部連合会を通じて、継続的な実施と一層の充実を県に要望した。
- ・労働安全体制整備については、会員企業への現況調査の実施や平成29年度協会労働災害防止計画の策定を行った。また、会員に対して事故防止の通知やさいたま労働局作成のリーフレットを配布した。
- ・会員の資質向上を図るとともに、県行政担当者と会員との意見交換を通じて相互の理解を深めるため、地区懇談会を県産業廃棄物指導課と環境管理事務所の協力のもと、県内の4地域で開催した。また、連合会や関係諸団体、行政などとの交流事業等を行った。
- ・協会の各事業については、各担当事業委員会において企画、検討して事業を進めた。

主な事業活動は次のとおりである。

1) 事業系・建設系廃棄物適正処理の推進

① 環境保全懇談会

環境保全連絡協議会（排出事業者）と協会・行政との意見交換会

開催 平成28年11月21日（月） 埼玉教育会館

議題 産業廃棄物に係る最新の動向について等

出席 県、環境保全連絡協議会員、協会事業系廃棄物処理推進事業委員

② 建設系廃棄物処理関係懇談会

平成 29年2月21日（火） 埼玉教育会館

議題 建設廃棄物の技術的・制度的な問題とリサイクルの新しい動き

出席 県、建設系賛助会員、協会建設系廃棄物処理推進事業委員

2) 3S運動推進協議会（協会青年部会・女性部会から5名参画）

- ・第1回協議会 平成28年 7月 5日 (火)
- ・第2回協議会 8月23日 (火)
- ・第3回協議会 11月 1日 (火)
- ・3S運動推進キャンペーン 9月10日 (火) 埼玉スタジアム
- ・3S運動最優秀等知事表彰受賞
11月30日 (水) さいたま市民文化センター
- 最優秀賞 スマイル賞 石坂産業(株) セイケツ賞 (株)木下フレンド
スタイル賞 (株)シタラ興産・(株)クマクラ
- 奨励賞 スマイル賞 新和環境(株) セイケツ賞 東明興業(株)・(株)ショーモン
スタイル賞 (株)ショーモン

3) 労働安全衛生の推進

- ①会員企業における労働安全衛生現況調査の実施 平成28年9月
- ②平成29年度協会労働災害防止計画策定 平成28年12月
- ③会員に事故防止通知 平成28年12月、29年1月

4) 地区懇談会 (県と協会員との意見交換会)

- ① 北部・秩父地区 平成28年10月 3日 (月) 熊谷市立文化創造館
出席43名
- ② 中央地区 平成28年10月11日 (火) あげぼのビル
出席36名
- ③ 西部・東松山地区 平成28年11月 2日 (火) 川越南文化会館
出席58名
- ③ 東部・越谷地区 平成28年10月21日 (金) 春日部市民文化会館
出席48名

5) 関係団体及び行政との交流事業等

- ① 協会平成29年新年賀詞交歓会
平成29年1月18日 (水) 浦和ロイヤルパインズホテル
- ② 公益社団法人全国産業廃棄物連合会関係
 - ・第6回定時総会
平成28年 6月17日 (金) 明治記念館
 - ・産業廃棄物と環境を考える全国大会
平成28年11月11日 (金) ホテルグランヴィア岡山
 - ・平成29年賀詞交歓会
平成29年 1月13日 (金) 明治記念館
 - ・全国正会員会長・理事長会議
平成29年 2月24日 (金) 明治記念館
 - ・全国正会員事務局責任者会議
平成28年 7月29日 (金) アジュール竹芝
平成29年 2月 3日 (金) 同
- ③ 関東地域協議会関係

- ・関東地域協議会会長・理事長会議及び関東地域協議会
第56回 平成28年 4月22日(金) 青山ダイヤモンドホール
第57回 11月26日(金) ホワイトイン高崎
- ・関東地域協議会事務責任者会議
平成28年10月19日(水)、平成29年3月17日(金)
東京都産業廃棄物協会

④ 関係団体会議

- ・埼玉県環境保全連絡協議会
平成28年 5月11日(水) パレスホテル大宮
- ・埼玉県フロン回収・処理推進協議会
平成28年 6月 2日(木) 埼玉会館
- ・埼玉県不正軽油撲滅対策協議会
平成28年 6月 3日(金) 知事公館
- ・埼玉県防犯まちづくり推進会議
平成28年 6月 3日(金) 県民健康センター
- ・埼玉県過積載防止建設団体連絡会
平成28年 6月 6日(月) 埼玉教育会館
- ・暴力追放薬物乱用防止県民大会
平成29年 1月25日(水) さいたま市文化センター

⑤ 意見交換会

- 知事と新旧役員の意見交換会
平成28年8月21日(日)～22日(月) 新潟県湯沢町

6) 事業委員会

① 調査研修事業委員会

- ・開催 平成28年 8月12日(金) さいたま共済会館
議題 協会主催講習会、県外施設視察調査、災害支援体制について

② 普及指導事業委員会

- ・開催 平成28年 8月1日(月) あけぼのビル
議題 会報けやき第77号の編集、地区懇談会等について
- ・開催 平成29年 1月30日(月) あけぼのビル
議題 会報けやき第78号の編集等について

③ 収集運搬活性化事業委員会

- ・開催 平成28年 9月7日(水) あけぼのビル
議題 収集運搬業に関する最近の動向等について

④ 労働安全体制整備事業委員会

- ・開催 平成28年 8月25日(月) さいたま共済会館
議題 労働安全衛生に関する最近の動向、労働災害防止対策について
- ・開催 平成28年12月 5日(月) あけぼのビル
議題 連合会委員講演、安全衛生活動の現況調査、労働災害防止計画

について

- ⑤ 事業系廃棄物処理推進委員会
 - ・開催 平成28年 9月28日(水) さいたま共済会館
 - 議題 事業系廃棄物適正処理推進のための課題について
 - ・環境保全懇談会【前掲】
- ⑥ 建設系廃棄物処理推進委員会
建設系廃棄物処理関係懇談会【前掲】
- ⑦ 表彰事業委員会
 - ・開催 平成28年 3月 6日(月) さいたま共済会館
 - 議題 平成29年度協会及び連合会表彰候補者について
- ⑧ さいたま環境整備事業関係業者選定委員会
 - ・開催 平成28年11月17日(木) さいたま共済会館
 - 議題 平成28年度さいたま環境整備事業の業者選定について
 - ・開催 平成28年 3月22日(水) あげぼのビル
 - 議題 平成29年度さいたま環境整備事業について

II 産業廃棄物の適正処理に関する研修会、講習会等の開催及び後継者等の人材育成

(1) 協会主催及び県との共催の講習会

- ・産業廃棄物処理業者は、法令に基づく廃棄物の適正処理、労働安全衛生の確保はもとより、持続可能な循環型社会の構築に向けて、廃棄物のリサイクル、熱回収等の推進、環境マネジメントシステムの導入、経営の高度化など、環境産業としての取組を積極的に展開することを求められている。
- ・業界を取り巻く諸課題への対応や将来展望にも資することを目的に、産業廃棄物の適正処理等に関する講習会を実施した。

1) 産業廃棄物適正処理講習会(県との共催)

開催 平成28年 7月29日(金) さいたま市民会館おおみや
演題 「廃棄物処理法の排出者責任と実務上のチェックポイント」
(上川路宏氏)
「食品廃棄物の不適正転売事案に係る課題と展望」
(環境省産業廃棄物課)

受講者 576名

2) 産業廃棄物講習会(協会主催)

開催 平成28年11月30日(水) さいたま市文化センター大ホール
演題 「廃棄物処理法改正の動向について」(環境省産業廃棄物課)
「産業廃棄物に係る労働安全衛生対策について」
(中央労働災害防止協会)

受講者 600名

(後援；埼玉県、埼玉県環境保全連絡協議会、(一社)埼玉県建設業協会)

(2) 産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会

日本産業廃棄物処理振興センターに協力して、「産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業に関する新規許可講習会」、「同 更新許可講習会」及び「特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会」を、さいたま共催会館において延べ15回開催した。受講者総数は2,118名である。

1) 新規講習会 (収集運搬課程)

平成28年 7月26日(火)～7月27日(水)

9月13日(火)～9月14日(水)

12月7日(水)～12月8日(木)

平成29年 2月8日(水)～2月9日(木)

受講者数590名

2) 新規講習会 (収集運搬・処分課程)

平成28年 8月2日(火)～8月5日(金)

受講者数150名

3) 新規講習会 (特別管理産業廃棄物収集運搬課程)

平成28年10月25日(火)～10月27日(木)

受講者数66名

4) 更新講習会 (収集運搬課程)

平成28年 6月8日(水)、10月28日(金)

平成29年1月27日(金)、3月2日(金)

受講者数629名

5) 更新講習会 (収集運搬・処分課程)

平成29年1月25日(水)～1月26日(木)

受講者数108名

6) 特別管理産業廃棄物管理責任者講習

平成28年 7月28日(木)、12月9日(金)

平成29年 2月10日(金)、3月3日(金)

受講者数575名

(3) その他の研修事業

企業の経営者から現場管理責任者、実務担当者まで、幅広く法令、処理技術、労働安全衛生、経営などに関する研修の機会を提供するため、実務担当者研修会【後掲】を県内4カ所で実施するほか、連合会、日本産業廃棄物処理振興センター等で実施する各種研修会の案内を行った。

(4) 廃棄物処理業に係る人材育成

・法令と社会的な規範を遵守し、企業の社会的責任を果たしていく上で、業界

の後継者や法令・技術面に習熟した業界の人材の育成が重要である。

・平成6年度に組織された青年部会は、平成28年度においても勉強会、施設研修会、全国組織との交流事業などを実施し、協会総会、講習会などに主体的に協力した。

・平成8年度に組織された女性部会では、勉強会、施設研修会、関東地域の他県協会女性部会員との交流事業、協会事業への協力等を通して、女性の視点から処理業界の課題解決に寄与するという趣旨に基づき活動した。

・県と共催で「環境産業合同入社式」を開催し、新入社員の定着とモチベーション向上を図るほか、フォローアップ研修を行った。

・従事者能力アップセミナーや産業廃棄物処理業経営塾の紹介などを行い、人材育成の推進支援に努めた。

・会員及び会員企業の優れた功績などを称える表彰制度として、功労者、優良事業所、優良従業員の顕彰を行うとともに、県や連合会の表彰規程に基づく表彰への推薦を行った。また、協会主催講習会への継続参加受講者に対しては感謝状を贈呈した。

主な事業活動は次のとおりである。

1) 地区懇談会の開催【前掲】

2) 県外廃棄物処理施設の視察研修【前掲】

3) 青年部会活動

① 勉強会等、施設研修会

・平成28年6月24日（金）

「電気料金の省エネ・省コストについて」（皆川賢治 氏）

「メンタルヘルスについて」（戸国大介 氏）

・平成28年12月2日（金）

「事業継承、相続等について」（澤井修司 氏）

・平成29年3月3日（金） ㈱ジェイエーシー蔵王資源リサイクル工場視察

② 会議・交流事業等

・総会 平成28年6月24日（金）あけぼのビル

・役員会議 平成28年4月22日（金）ほか10回

・全国大会 平成29年3月4日（土）仙台市

4) 女性部会活動

① 勉強会、施設研修会

・平成28年7月19日（火）

「最近の不適正処理事案について」（産業廃棄物指導課）

・平成28年10月14日（金）石坂産業㈱視察

子供の環境教育の見学・支援

② 会議・交流事業等

・総会 平成28年5月17日（火）あけぼのビル

・部会 平成28年4月19日（火）ほか4回

- ・関東地域協議会研修会 平成28年9月15日 東京都
「気がつかないではすまされない～産廃の落とし穴」(芝田麻里氏ほか)
- ・e-Lady 21の集い 平成28年11月11日(金) ホテルグランヴィア岡山
- ・関東地域協議会女性部会交流会 平成29年2月3日 千葉市

5) 環境産業合同入社式・名刺交換会(県・協会共催)

平成28年6月6日(月) 県民健康センター

講演「新たな道を切り拓く～処理の受け手から資源の創り手へ」(藤村コノエ氏)

出席 28社117名

6) 表彰事業(敬称略)

① 循環型社会形成推進功労者等表彰受賞者

産業廃棄物関係事業功労者環境大臣表彰 亀井實(亀井産業株式会社)

② 埼玉県産業廃棄物関係環境衛生功労者等表彰受賞者

ア 環境衛生功労者知事表彰 新井勝夫(サン商事株式会社)

イ 環境衛生功労者環境部長表彰 亀井寿之(亀井産業株式会社)

ウ 優良従事者環境部長表彰

平野賢司(株式会社クマクラ) 水野淳(株式会社小暮商店)

③ 公益社団法人全国産業廃棄物連合会表彰受賞者

ア 地方功労者表彰

高澤謙之(株式会社千佳) 野崎鉄也(野崎興産株式会社)

内田千恵子(株式会社ウチダ) 今野勇(有限会社丸新)

中村幸江(有限会社中村清掃) 野寺貴之(協栄興業株式会社)

イ 優良事業所表彰

クリーンシステム株式会社

ウ 地方優良事業所表彰

株式会社ホートー

株式会社清香園

エ 優良従事者表彰

小倉武(株式会社三栄興業) 柴崎孝雄(株式会社山口組)

大井裕一(株式会社クマクラ)

④ 一般社団法人埼玉県環境産業振興協会表彰

ア 功労者表彰

石坂典子(株式会社石坂産業) 大村相哲(大村商事株式会社)

君島憲児(株式会社ジェップ) 桑原幹夫(株式会社クワバラパンぷキン)

山口徹(日興サービス株式会社) 鷲巣實(コスモクリーン株式会社)

イ 優良事業所表彰

株式会社万力

有限会社クリーントレーディング赤城産業

埼玉原リサイクル有限会社 資源保護株式会社 新鋭工業株式会社

株式会社フジタ環境 武蔵野環境株式会社 若宮商事株式会社

ウ 優良従業員表彰

望月輝夫(野崎興業株式会社)

大熊秀幸(ウム・ヴェルト株式会社)

菊池章博（東武商事株式会社）	塩澤輝幸（株式会社エコクリエート）
村中 勉（株式会社エコシス埼玉）	鈴木良明（株式会社エス・イーティ）
安川 薫（有限会社安川商事）	山崎 操（クリーンシステム株式会社）
湯澤直人（有限会社太盛）	渡邊紗斗美（株式会社タカヤマ）

Ⅲ 産業廃棄物の不適正処理対策に関する環境保全事業

（1）けやき積立金の運営・管理

・さいたま環境整備事業推進積立金（けやき積立金）は、廃棄物の山の撤去や改善等による生活環境の原状回復・保全事業の推進に必要な事業費に活用することを目的に設置され、協会役員、県、政令市、関係各界の代表者から構成される「さいたま環境整備事業推進積立金運営委員会」において適正な運用を図ることとしている。

・平成28年度のけやき積立金会計の収支は、次のとおりである。

けやき積立金会計（平成28年度末）

① 収入の部

ア 埼玉県補填金	2, 561, 341円
イ 行田市補填金	561, 341円
ウ 市町村分担金	400, 000円
エ 協会からの繰入金	5, 000, 000円
オ 雑収入	2, 227円
収入合計	8, 524, 909円

② 支出の部

共同撤去事業 1件 5, 122, 682円

③ 平成28年度収支差額 3, 402, 227円

④ けやき積立金平成28年度末積立金額 507, 123, 692円

・運営委員会の開催

さいたま環境整備事業推進積立金運営委員会

平成28年12月15日（木） あげぼのビル

（2）不法投棄等不適正処理廃棄物対策

・けやき積立金による事業は、産業廃棄物の不適正処理により生活環境等の保全に支障が生じる恐れがある場合などについて、「共同撤去事業」、「放置事案改善事業」及び「小規模投棄廃棄物撤去事業」に区分して実施している。

これらは、県や関係市町村が必要性を認め、けやき積立金規程に基づき協会に協力を要請されたものについて、同運営委員会の承認及び埼玉県環境部長との協議を経たものについて、撤去等の事業を実施することとしている。

・平成28年度においては、けやき積立金運営委員会の議を経て、行田市地内に放置された廃タイヤ等の撤去・処理を県・市と共同して実施した。

1) 共同撤去事業 1件

ア 対象地 行田市堤根

イ 概要

中古タイヤ販売業者が自己所有地に廃タイヤ・廃自動車を野積み（面積661m²）、同人が死亡、法定相続人が相続を放棄したため、そのまま放置された。排出者不明。廃タイヤは火災の危険あるとともに、蚊が大量に発生するため、近隣から苦情・要望があるなど、周辺住民の生活環境に支障があるため、これらの撤去及び処理を行った。

ウ 実施年月 平成29年2月1日～8日

エ 廃棄物の種類及び量

廃タイヤ 57,710Kg 廃自動車等 1,440Kg

廃プラ 7.5m³ ガラ陶 30m³ 汚泥 2m³

一般廃棄物 3,730Kg

オ 対策費用 5,122,682円

一般廃棄物については行田市が処分

カ 再発防止策

撤去に先立ち当該土地は行田市に寄付。市が管理活用する。

キ 協力会社

株式会社国分商会、メタルリサイクル株式会社、株式会社ショーモン

2) 廃棄物不法投棄の情報提供に関する連絡会議等

県の不法投棄防止キャンペーン参加

平成28年7月8日（金）ららぽーと富士見 青年部会・女性部会12名

IV 災害廃棄物の処理支援等に関する事業

「地震等大規模災害時における災害廃棄物の処理等に関する協定書」（平成16年11月締結）に基づく支援に資するため、災害時における初動緊急支援体制について、引き続き検討を進めた。

・災害廃棄物処理図上訓練（県資源循環推進課）への参加（調査研修事業委員会）

平成29年1月27日（金）松伏町中央公民館

2月2日（木）朝霞市産業文化会館

・埼玉県災害廃棄物処理指針素案への意見提出（事務局）

V 地方公共団体等からの受託事業

埼玉県からの受託業務として、「県外産業廃棄物搬入処理事前協議制度に基づく申請書類の審査・受理」及び「産業廃棄物適正処理に関連した実務担当者向けの法制度等の研修会」を実施した。

(1) 県外産業廃棄物搬入処理事前協議制度の申請書類受付事務

県外で発生した指定産業廃棄物（建設系廃棄物である「廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、石膏ボード）の排出状況、処分状況等を把握し、

ダイオキシン類の排出削減、指定産業廃棄物の分別排出等を促進し、適正処理の推進を図るため導入した、事前協議制度に係る「事前協議書」等の受付業務を行った。

1) 受託期間 平成28年4月1日～平成29年3月31日

2) 事前協議等受理件数

- | | |
|---------------|---------|
| ① 事前協議等受理件数 | 2, 481件 |
| 一括協議書受理件数 | 27件 |
| ② 変更届受付件数 | 35件 |
| ③ 特例適用届出書受付件数 | 110件 |
| 合計件数 | 2, 653件 |
| ④ 実績報告書受付件数 | 400件 |

(2) 実務担当者研修会の実施

産業廃棄物の排出事業者及び処理業者の実務担当者を対象に、適正処理等を推進することを目的とした研修会を、中央、西部、北部、東部の4地区において実施した。総受講者数は396名であった。

1) 法律コース（排出事業者・処理業者）

講師 保科 弘 氏（日本産業廃棄物処理振興センター専任講師）

平成28年12月20日（火）	さいたま共済会館	32名
平成29年1月13日（金）	熊谷文化創造館	45名
2月1日（水）	春日部市民文化会館	56名
2月13日（月）	川越南文化会館	61名

2) 安全衛生コース（排出事業者・処理業者）

講師 熊江 隆 氏（日本産業廃棄物処理振興センター専任講師）

平成29年1月17日（火）	あけぼのビル	43名
2月15日（水）	春日部市民文化会館	40名

3) 産業廃棄物処理コース（処理業者）

講師 藤井重雄 氏
（日本環境衛生センター・日本産業廃棄物処理振興センター講師）

平成29年1月11日（水）	さいたま共済会館	58名
---------------	----------	-----

4) 新規採用者フォローアップコース（環境産業合同研修会）

講師 株式会社インソース

平成28年12月13日（火）	さいたま共済会館	38名
平成29年1月10日（火）	ウェスタ川越	23名